

JPNIC・JIPACシンポジウム
「ドメイン名紛争の解決 - JP-DRP制定25年：
ブランド・商標とインターネットの交錯」
2026年1月23日（金）第1部

ドメイン名紛争解決 のための実践的対応

日本知的財産仲裁センター（JIPAC）運営委員
JIPAC・WIPO・ADNDRCパネリスト候補者
弁護士 山口裕司（大野総合法律事務所）

第1部でご説明したいこと

- ◆前置き…JIPAC運営委員・事件管理者、パネリスト、代理人の立場
- ◆問題となるドメイン名を発見した際の初動対応
 - ★弁護士・弁理士との相談
 - ★証拠の保存
 - ★WHOISの確認、登録者との交渉
- ◆訴訟とドメイン名紛争処理手続の比較検討
 - ★不正競争防止法、JP-DRPとUDRPの比較
 - ★JP-DRPとUDRPの4条(a)に定める3つの要件
 - ★ドメイン名紛争処理手続の流れ
 - ★ドメイン名紛争処理申立事件の統計と傾向
- ◆JP-DRP紛争処理手続の運用改善の取組み
 - ★国際化するドメイン名紛争処理と手続言語
 - ★裁定例の整理・検索の容易化と基準・運用の明確化
 - ★手続の簡素化・簡易化のための手続規則改正
 - ★企業のブランドマネジメントとドメイン名紛争処理の活用

前置きードメイン名紛争処理に関する経験

2003年-2004年、2015年-現在 日本知的財産仲裁センター運営委員

2014年以降 JP-DRP紛争処理の代理人

2017年-現在 JPNIC・DRP検討委員会委員

2021年-現在 JPドメイン名紛争処理パネリスト候補者（裁定2件）

2021年-現在 WIPOドメイン名紛争処理パネリスト候補者（裁定44件）

2023年以降 UDRP紛争処理の代理人

2024年-現在 ADNDRCドメイン名紛争処理パネリスト候補者（裁定3件）

「ドメインネーム」『IT法大全』（日経BP社、2002年）

「JPドメイン名紛争処理手続の18年、そしてこれから」自由と正義2018年3月号

「ドメイン名紛争処理と日本企業等における対策」JCAジャーナル2020年10月号

「ドメイン名紛争処理の現況と新しい論点への対応」仲裁・ADRフォーラム8号

（2023年）

「個人名を含むドメイン名の紛争処理における裁定例の傾向」特許ニュース16080号（2024年）

「隣国相互理解の第一歩～KR-DRPとの出会い～」JPNIC Newsletter 87号（2024年）

「グローバルブランドマネジメントとしてのドメイン名紛争処理」大野総合法律事務所 Oslaw News Letter74号（2025年）

問題となるドメイン名を発見した際の初動対応

★弁護士・弁理士との相談

★証拠の保存

★WHOISの確認、登録者との交渉

★不正競争防止法2条1項19号

不正の利益を得る目的で、又は他人に損害を加える目的で、他人の特定商品等表示（人の業務に係る氏名、商号、商標、標章その他の商品又は役務を表示するものをいう。）と同一若しくは類似のドメイン名を使用する権利を取得し、若しくは保有し、又はそのドメイン名を使用する行為

★不正競争防止法3条（差止請求権）

★不正競争防止法4条（損害賠償）

★JPドメイン名紛争処理方針（JP-DRP）4条(i) 救済

申立人がパネルに対して求めることのできる救済は、登録者のドメイン名登録の取消請求または当該ドメイン名登録の申立人への移転請求に限られる。

申立人が立証すべき3つの要件（処理方針4条a項）

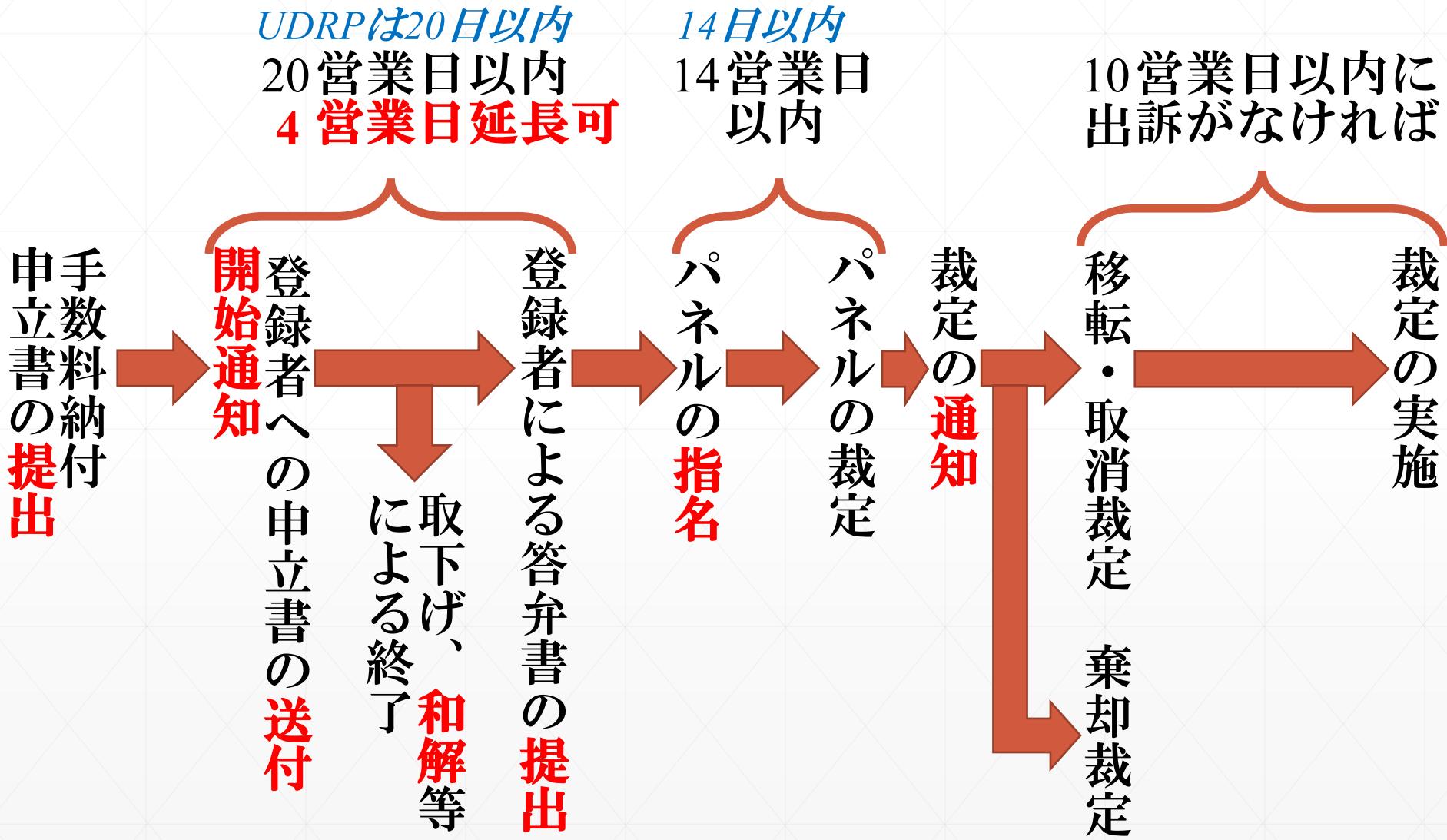
★JPドメイン名紛争処理方針(JP-DRP)4条(a)（赤字はUDRPとの主な相違）

- (i) 登録者のドメイン名が、申立人が権利または正当な利益を有する商標その他表示と同一または混同を引き起こすほど類似していること
- (ii) 登録者が、当該ドメイン名に関係する権利または正当な利益を有していないこと
- (iii) 登録者の当該ドメイン名が、不正の目的で登録または使用されていること

★統一ドメイン名紛争処理方針(UDRP)4条(a)

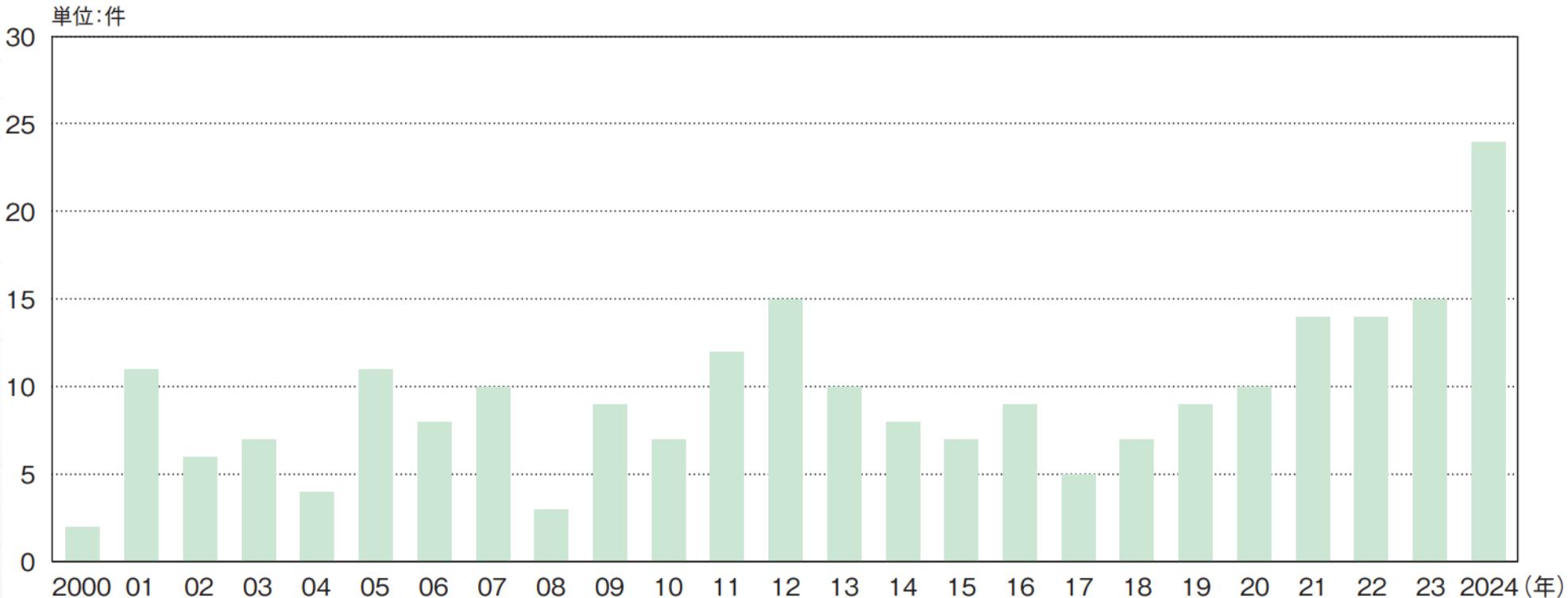
- (i) your domain name is identical or confusingly similar to a trademark or service mark in which the complainant has rights; and
- (ii) you have no rights or legitimate interests in respect of the domain name; and
- (iii) your domain name has been registered and is being used in bad faith.

ドメイン名紛争処理の流れ



JPドメイン名紛争処理の申立件数

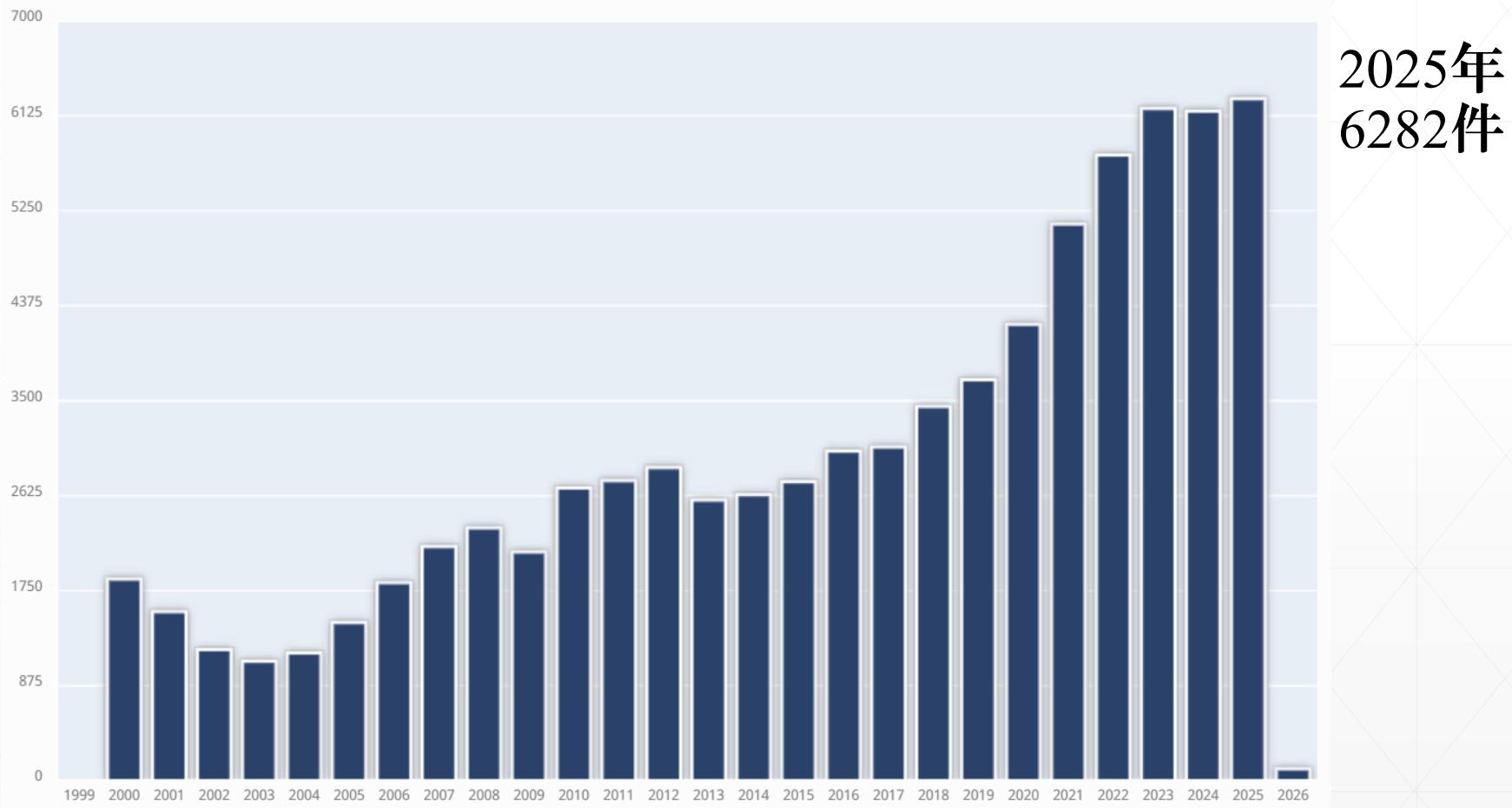
★JPドメイン名紛争処理は近年増加傾向にあるが、国コードトップレベルドメイン（ccTLD）紛争処理の中で特別多いとまでは言えない。



JPRS 「JPドメイン名レジストリレポート2024.1-12
(<https://jprs.co.jp/doc/report/registry-report-2024.pdf>)

WIPOドメイン名紛争処理の申立件数

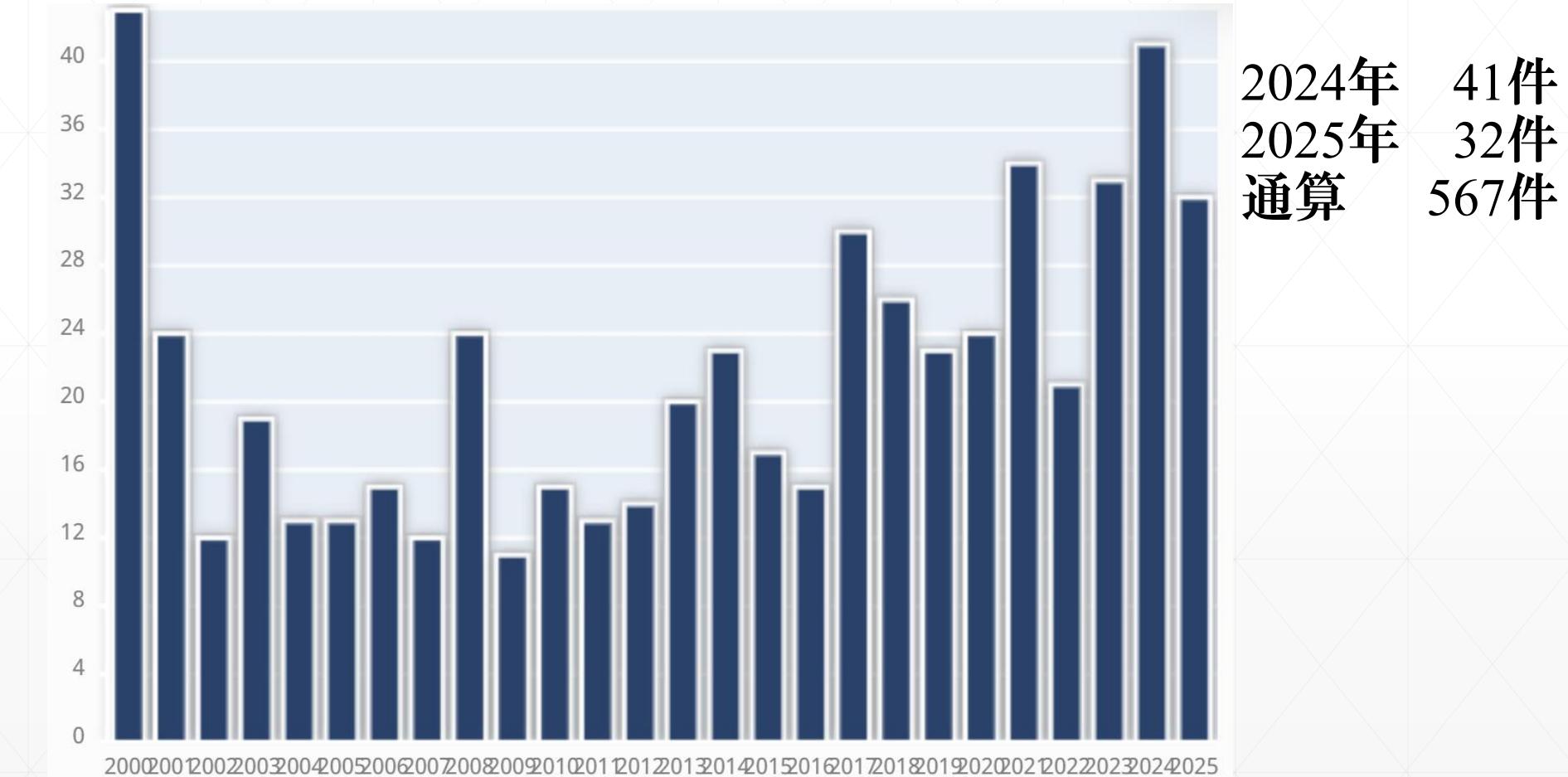
★WIPO紛争処理は増加が著しく、ドメイン名紛争の主戦場とも言える。 (<https://www.wipo.int/amc/en/domains/statistics/cases.jsp>)



2025年
6282件

WIPOドメイン名紛争処理における日本人の申立件数

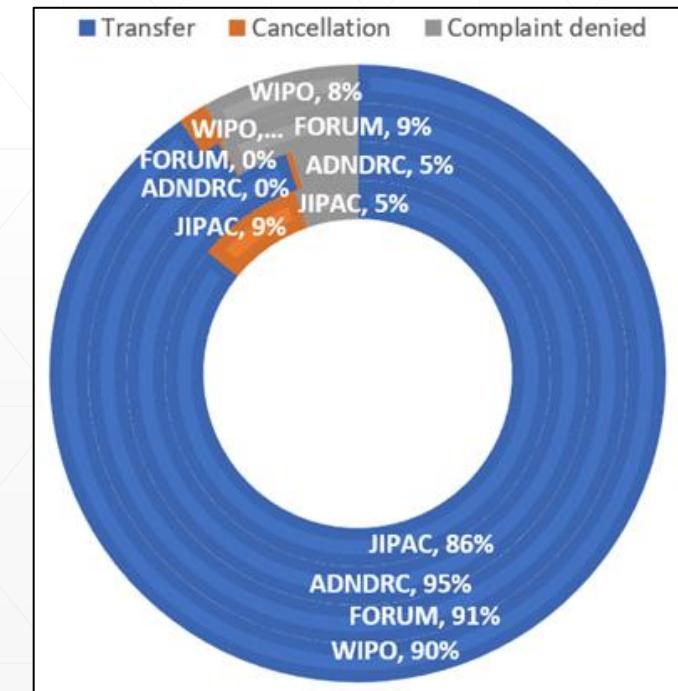
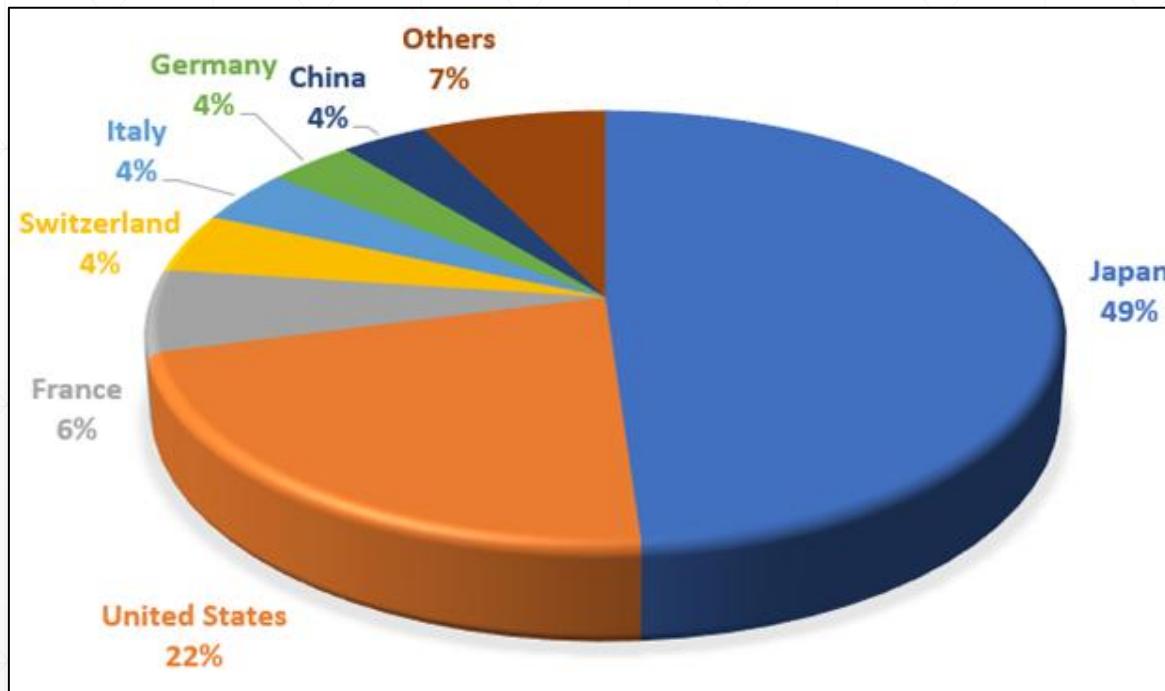
★WIPOにおける日本人の申立件数は19位（米仏英独瑞伊蘭典丁西豪加印伯白土墨、最近抜かれたルクセンブルクに次ぐ順位）



JPドメイン名紛争処理の国籍別件数・各機関の裁定の結論

- ★JPドメイン名紛争処理申立の過半数は外国人によるもの
- ★裁定の結論は各機関とも約9割が移転

	JIPAC	ADNDRC 香港Office	FORUM	WIPO
移転	195	1672	36406	57585
取消	20	8	89	963
棄却	12	80	3362	5254



JP-DRP紛争処理手続の運用改善の取組み

◆国際化するドメイン名紛争処理と手続言語

★JP-DRP手続規則11条(a) 手続言語は日本語とする。ただし、手続実施の状況を踏まえて、パネルが別段の決定をする場合には、この限りではない。

★登録者の異議がない3件で手続言語を英語に変更し裁定を行った

◆裁定例の整理・検索の容易化と基準・運用の明確化

★JP-DRP裁定検索システム (<https://jpdrp-db.nic.ad.jp/>)

★JP-DRP解説の改訂…より詳しくDRPを理解したい方のための資料集 (<https://www.nic.ad.jp/ja/drp/references.html>)

◆手続の簡素化・簡易化のための手続規則改正

★オンラインストレージへのアップロードのみによる書類の提出から電子メールの添付による書類の提出も許容する形に改正

◆企業のブランドマネジメントとドメイン名紛争処理の活用

★JPドメイン名のみを扱える紛争処理機関から一般トップレベルドメイン(gTLD)も扱えるワンストップショッップを目指すべき

ご清聴ありがとうございました。

本講演やJPドメイン名紛争処理に関するご質問は、日本知的財産仲裁センター事務局または山口までお寄せ下さい。

日本知的財産仲裁センター
事務局

Tel: 03-3500-3793

Email: info@ip-adr.gr.jp

<https://www.ip-adr.gr.jp/service/jpdomain/>

弁護士 山口 裕司 (大野総合法律事務所)